



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役 社長執行役員 （氏名） 大塚 信行

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 管理本部長 （氏名） 奥津 明洋 TEL 045-474-9000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,996	48.0	1,608	584.7	1,714	320.7	1,206	549.7
2026年3月期第1四半期	9,457	△7.4	234	△45.9	407	△44.4	185	△57.3

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,331百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △426百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	99.37	98.87
2026年3月期第1四半期	14.16	14.09

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	49,395	26,698	52.6
2026年3月期	48,048	27,113	54.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 25,958百万円 2026年3月期 26,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	90.00	125.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	90.00	—	40.00	130.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 50円00銭

3. 2027年3月期（予想）第2四半期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 50円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	9.1	4,000	28.7	4,000	37.4	5,000	21.6	415.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ネットビジョン、除外 1社 (社名) ジェイ・エス・シー株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	13,700,000株	2026年3月期	13,700,000株
2027年3月期1Q	1,665,353株	2026年3月期	1,525,314株
2027年3月期1Q	12,139,094株	2026年3月期1Q	13,117,313株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託E口が保有する当社株式(2027年3月期1Q 79,700株、2026年3月期 79,700株)が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2027年3月期1Q 79,700株、2026年3月期1Q 42,000株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の物価高対策等により個人消費が底堅く推移したほか、AI関連需要の拡大や省力化・デジタル化投資の進展などを背景として企業の設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。一方、先行きについては、中東情勢の緊迫化による資源価格や原材料価格の上昇が個人消費や企業活動に及ぼす影響が懸念されるほか、米国の通商政策の動向や中国経済の停滞、金融資本市場の変動など、依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況の下、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、テストソリューション事業を中心に各事業の売上高、利益ともに前年同期実績を上回ったことから、売上高13,996百万円（前年同期比48.0%増）、営業利益1,608百万円（同584.7%増）、経常利益1,714百万円（同320.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,206百万円（同549.7%増）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔テストソリューション事業〕

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発やメモリー以外の周辺ソリューションの拡大に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、国内及び海外向けメモリーテスターの販売が大幅に伸長したことに加え、後工程用検査ボードの需要が増加し、前年同期実績を大きく上回りました。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、信頼性評価装置の需要が増加したことや、プローブカード販売も前年同期と概ね同水準で推移し増収となりました。

その結果、当事業の売上高は6,179百万円（前年同期比131.3%増）、セグメント利益は1,021百万円（前年同期はセグメント損失264百万円）となりました。

〔半導体設計関連事業〕

半導体設計関連事業は、関連サービスの強化や新規顧客の開拓、既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。半導体設計用（EDA）ソフトウェアを主力商品とするEDA他は、既存顧客との長期契約や新規顧客開拓が概ね順調に進捗したことなどにより堅調に推移いたしました。また、前連結会計年度に子会社化した株式会社ファイ・マイクロテックの光通信向け高速アナログIC販売も収益に貢献しました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、ベトナム子会社におけるAI関連事業の需要が減少したことや、国内主力顧客向けも伸び悩み減収減益となりました。株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスは、前連結会計年度に受注した研究開発の大型案件が順調に進捗し増収増益となりました。

その結果、当事業の売上高は3,719百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は202百万円（同45.3%増）となりました。

〔システム・サービス事業〕

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力するとともに、展示会への出展やインサイドセールスの活用による新規顧客の獲得や新規市場の開拓など積極的な営業活動に努めてまいりました。自社ブランド「INNINGS」を展開するCPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、防衛向けが堅調に推移したことに加え、データセンターをはじめとする半導体や社会インフラ向けが大幅に伸長したことなどにより増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、決済端末の需要が減少したものの、決済システムのサービス収入や受託開発が堅調に推移したことにより利益面では前年同期実績を上回りました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、自動車メーカーの戦略見直しの影響に加え、関連需要の減退が継続したことにより、いずれも低調に推移し減収減益となりました。株式会社レグラスは、画像処理関連の受託開発、AIカメラシステムの販売が共に伸び悩み減収となりました。

その結果、当事業の売上高は4,097百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は540百万円（同32.8%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は49,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,347百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は22,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,762百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、短期借入金や前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産は26,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ415百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得などによるものであります。この結果、自己資本比率は52.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2026年8月10日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,534,673	7,397,910
受取手形、売掛金及び契約資産	13,326,709	15,275,481
電子記録債権	293,062	207,613
商品及び製品	6,595,870	6,089,913
仕掛品	1,323,298	1,443,314
原材料	1,914,896	1,962,420
その他	2,849,567	3,903,742
貸倒引当金	△2,594	△2,683
流動資産合計	34,835,483	36,277,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,412,269	5,450,721
減価償却累計額	△3,521,098	△3,555,648
建物及び構築物（純額）	1,891,171	1,895,072
土地	3,354,361	3,354,361
その他	4,145,681	4,198,497
減価償却累計額	△2,745,065	△2,814,927
その他（純額）	1,400,615	1,383,569
有形固定資産合計	6,646,148	6,633,003
無形固定資産		
のれん	656,578	743,419
その他	1,301,716	1,314,735
無形固定資産合計	1,958,294	2,058,154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,978,759	1,945,200
その他	2,629,710	2,481,832
投資その他の資産合計	4,608,470	4,427,033
固定資産合計	13,212,912	13,118,192
資産合計	48,048,396	49,395,906

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,552,186	3,627,291
短期借入金	3,123,125	5,341,809
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	1,956,074	419,292
前受金	6,159,210	7,733,357
賞与引当金	772,904	899,662
役員賞与引当金	2,700	15,466
製品保証引当金	58,365	53,416
その他	2,838,990	2,319,157
流動負債合計	19,063,557	21,009,453
固定負債		
長期借入金	1,150,000	950,000
役員退職慰労引当金	106,369	88,633
株式給付引当金	68,505	73,025
退職給付に係る負債	372,322	387,886
その他	174,091	188,528
固定負債合計	1,871,288	1,688,073
負債合計	20,934,845	22,697,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,079,463	4,079,432
利益剰余金	12,684,850	12,788,247
自己株式	△2,714,492	△3,308,582
株主資本合計	24,566,980	24,076,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,416	30,346
繰延ヘッジ損益	△48,602	38,918
為替換算調整勘定	1,630,437	1,652,519
退職給付に係る調整累計額	167,772	160,865
その他の包括利益累計額合計	1,781,023	1,882,650
新株予約権	21,730	21,730
非支配株主持分	743,816	717,740
純資産合計	27,113,551	26,698,379
負債純資産合計	48,048,396	49,395,906

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	9,457,114	13,996,223
売上原価	6,653,147	9,397,826
売上総利益	2,803,966	4,598,397
販売費及び一般管理費	2,569,107	2,990,304
営業利益	234,859	1,608,092
営業外収益		
不動産賃貸料	119,533	51,315
為替差益	265,861	177,538
その他	17,928	25,811
営業外収益合計	403,324	254,666
営業外費用		
不動産賃貸費用	88,039	51,740
持分法による投資損失	99,199	56,973
その他	43,465	39,843
営業外費用合計	230,703	148,557
経常利益	407,479	1,714,201
特別利益		
固定資産売却益	850	210
特別利益合計	850	210
特別損失		
固定資産売却損	—	4,872
特別損失合計	—	4,872
税金等調整前四半期純利益	408,330	1,709,538
法人税等	223,031	481,962
四半期純利益	185,298	1,227,576
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△378	21,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,676	1,206,292

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	185,298	1,227,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,115	△1,878
繰延ヘッジ損益	36,811	87,521
為替換算調整勘定	△634,798	25,256
退職給付に係る調整額	△3,703	△6,907
その他の包括利益合計	△611,807	103,992
四半期包括利益	△426,508	1,331,568
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△413,430	1,307,918
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,077	23,649

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ネットビジョンの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、連結子会社であったジェイ・エス・シー株式会社は、2026年4月1日付で、連結子会社である三栄ハイテックス株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	554,157	—	—	554,157	—	554,157
STAr Technologies	2,117,299	—	—	2,117,299	—	2,117,299
EDA他	—	2,264,816	—	2,264,816	—	2,264,816
三栄ハイテックス	—	951,438	—	951,438	—	951,438
モーデック	—	62,321	—	62,321	—	62,321
組込みシステム他	—	—	914,485	914,485	—	914,485
アイティアアクセス	—	—	1,322,139	1,322,139	—	1,322,139
ガイオ・テクノロジー	—	—	1,170,879	1,170,879	—	1,170,879
レグラス	—	—	99,576	99,576	—	99,576
顧客との契約から生 じる収益	2,671,456	3,278,576	3,507,081	9,457,114	—	9,457,114
外部顧客への売上高	2,671,456	3,278,576	3,507,081	9,457,114	—	9,457,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	131	15,229	15,361	△15,361	—
計	2,671,456	3,278,707	3,522,311	9,472,475	△15,361	9,457,114
セグメント利益又は損 失（△）	△264,080	139,585	407,197	282,703	△47,844	234,859

（注）1．セグメント利益又は損失（△）の調整額△47,844千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△47,899千円及び棚卸資産の調整額55千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	3,246,542	—	—	3,246,542	—	3,246,542
STAr Technologies	2,932,747	—	—	2,932,747	—	2,932,747
EDA他	—	2,595,584	—	2,595,584	—	2,595,584
三栄ハイテックス	—	923,968	—	923,968	—	923,968
モーデック	—	200,267	—	200,267	—	200,267
組込みシステム他	—	—	1,728,088	1,728,088	—	1,728,088
アイティアアクセス	—	—	1,290,889	1,290,889	—	1,290,889
ガイオ・テクノロジー	—	—	995,430	995,430	—	995,430
レグラス	—	—	82,703	82,703	—	82,703
顧客との契約から生 じる収益	6,179,290	3,719,821	4,097,112	13,996,223	—	13,996,223
外部顧客への売上高	6,179,290	3,719,821	4,097,112	13,996,223	—	13,996,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	252	5,349	5,602	△5,602	—
計	6,179,290	3,720,074	4,102,461	14,001,826	△5,602	13,996,223
セグメント利益	1,021,173	202,771	540,586	1,764,530	△156,438	1,608,092

(注) 1. セグメント利益の調整額△156,438千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,997千円及び棚卸資産の調整額△441千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式140,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において単元未満株式の買取りを含め、自己株式が594,089千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,308,582千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	301,716千円	322,775千円
のれんの償却額	31,169	42,377

（収益認識関係の注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。